令和７年度宮崎県公立学校教員採用選考試験　問題用紙

専　門　　養護教諭

- 問題用紙は表紙を含み　７　枚
- 解答は解答用紙に記入すること

Ⅰ　「学校心臓検診の実際　令和２年度改訂（公益財団法人　日本学校保健会）」に記載されている内容及び心臓のはたらきについて、次の各問いに答えなさい。

(1) 突然死を起こす可能性のある主な疾患として適当なものを、次の選択肢から３つ選び、記号で答えなさい。

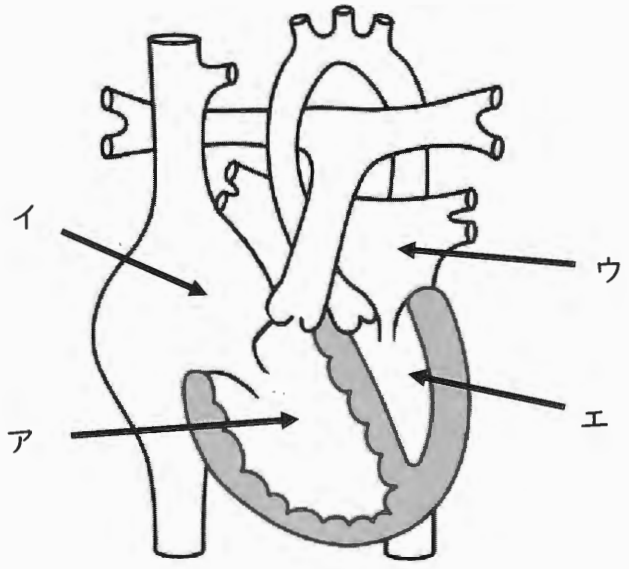
ア　洞結節機能不全症候群　　イ　ＱＴ延長症候群　　ウ　上室期外収縮
エ　不完全右脚ブロック　　オ　心室中隔欠損症　　カ　大動脈弁狭窄

(2) 突然死を予防するために、学校関係者が注意しなければならない事項について、（　　）に当てはまる語句を、下の選択肢からそれぞれ１つずつ選び、記号で答えなさい。

A　教科体育以外の学校行事への参加は、指導区分と、運動強度の定義によって判断する。ただし、場合によっては参加の可否を学校医あるいは（　①　）に相談する。
B　（　②　）を十分に行い、学校と保護者との連絡を密にして体調の変化を把握する。
C　原因の明らかでない（　③　）に充分注意し、医療機関を受診するように勧める。

ア　日常健康観察　　イ　失神　　ウ　けいれん　　エ　臨時の健康診断
オ　主治医　　カ　保護者　　キ　体育科教員

(3) 次の図は、心臓の断面を示したものである。全身から大静脈を介して血液が戻る部位を１つ選び、記号で答えなさい。



2　「学校保健の課題とその対応－養護教諭の職務等に関する調査結果から－令和２年度改訂（公益財団法人　日本学校保健会）」に記載されている、これからの学校保健に求められている養護教諭の役割について、正しいものを○、正しくないものを×とした場合、正しい組合わせを下の選択肢から１つ選び、記号で答えなさい。

①　学校内及び地域の医療機関等との連携を推進する上でコーディネーターの役割
②　教育委員会等の行政機関との連絡、交渉
③　学校保健委員会の運営
④　いじめや児童虐待など児童生徒等の心身の健康課題の早期発見、早期対応
⑤　学級（ホームルーム）活動における保健の指導をはじめ、Ｔ・Ｔや兼職発令による保健教育への積極的な授業参画と実施
⑥　健康・安全にかかわる危機管理への対応
⑦　学校全体の活動に関する調整や学校保健計画の作成

ア	①－○	②－×	③－×	④－○	⑤－○	⑥－×	⑦－○
イ	①－×	②－×	③－○	④－×	⑤－×	⑥－×	⑦－○
ウ	①－×	②－○	③－○	④－×	⑤－×	⑥－○	⑦－×
エ	①－○	②－×	③－×	④－○	⑤－○	⑥－○	⑦－×
オ	①－○	②－○	③－×	④－○	⑤－○	⑥－○	⑦－○

3　「精神疾患に関する指導参考資料　新学習指導要領に基づくこれからの高等学校保健体育の学習（令和３年３月発行　公益財団法人　日本学校保健会）」に記載されている内容について、後の各問いに答えなさい。

(1) 精神疾患の説明として適当なものを、次の選択肢から２つ選び、記号で答えなさい。

ア　精神疾患の発症には、睡眠などの生活習慣が影響することはない。
イ　現在は精神疾患に関するスティグマ（差別感や偏見）は解消されている。
ウ　自らは病気と気づきにくいという特徴がある。
エ　若年層の自殺死亡率は減少傾向にある。
オ　摂食障害は女性より男性が多い。
カ　生涯のうちに精神疾患に罹る人のうち、75%は 25 歳未満に発病している。

(2) 精神疾患の相談と治療について、（　　）に当てはまる語句を、後の選択肢からそれぞれ１つずつ選び、記号で答えなさい。

A　生徒から相談を受けた際には、まずは話を傾聴し、不安を（　①　）ことが重要である。
B　精神科における治療は薬物療法ばかりではなく、軽症の段階では環境調整や（　②　）なども行われる。
C　生徒の精神疾患や心の不調を疑ったら、（　③　）誰かに相談する。

ア　取り除く　　イ　しっかり見極めてから　　ウ　ナレッジマネジメント
エ　早めに　　オ　受け止める　　カ　ストレスマネジメント

(3) 精神疾患の１つである「不安症」の特徴的な症状として適当なものを、次の選択肢から１つ選び、記号で答えなさい。

ア　活動への興味や喜びの著しい減退、思考力や集中力の低下、不眠や過眠がみられる。
イ　社交場面に対する著しい恐怖と不安があり、赤面、震え、嘔気、動悸、筋肉のこわばりなどがみられる。
ウ　体型と体重に対する極端なこだわりや、体重増加への極度の恐怖を持つ。
エ　まわりに誰もいないのに話し声が聴こえる、存在するはずのないものが見える。

4　歯・口の健康について、後の各問いに答えなさい。

(1)「児童生徒等の健康診断マニュアル　平成 27 年度改訂（公益財団法人　日本学校保健会）」に記載されている児童虐待と歯及び口腔について、（　　）に当てはまる語句を、下の選択肢からそれぞれ１つずつ選び、記号で答えなさい。

むし歯、（　①　）及び歯肉炎、（　②　）が高い頻度でみられる児童生徒等の中に、虐待を受けている者が含まれていることがある。特に保護者により養育放棄を受けているネグレクトの児童生徒等は、間食類、市販飲料類など食生活が極端に偏っていたり、（　③　）が十分でないなど口腔環境が悪く、歯・口腔の疾患が発生しやすかったり、口臭などがみられたりもする。また、身体的虐待を受けている者の中に、口封じなどのため歯の外傷、口唇、舌など口腔軟組織に（　④　）をみることがある。これら歯・口腔所見は虐待を受けている兆候の１つとして、他の兆候とともに共有されることが必要である。健康診断の結果のお知らせの放置等も、検討課題である。校長と事後措置の検討を行う必要もある。

ア　歯の成長　　イ　裂傷　　ウ　成長の遅れ
エ　要観察歯（ＣＯ）　　オ　先天性欠損　　カ　歯並び
キ　ブラッシング　　ク　要注意乳歯　　ケ　歯周疾患要観察者（ＧＯ）

(2)「『生きる力』を育む　学校での歯・口の健康づくり　令和元年度改訂（公益財団法人　日本学校保健会）」に記載されている心身の発達の段階等からみた子供の歯・口の健康づくりの課題について、小学生中学年の子供の状況等として適当なものを、次の選択肢から２つ選び、記号で答えなさい。

ア　乳歯から永久歯への交換が終了したり、第二大臼歯が生えたりする時期である。
イ　第一大臼歯や中切歯の生える時期であり、子供が自らの体の変化や成長に初めて気付く極めて重要な時期である。
ウ　犬歯や小臼歯の交換時期に当たる。上顎の前歯部における歯と歯の隣接面や第一大臼歯のむし歯の発生に注意が必要である。
エ　「歯・口の傷害」の件数が圧倒的に多くなるので、生涯にわたる安全確保の視点から、安全教育を推進し、自他の安全の保持増進に対する理解を深める。
オ　歯列不正や不正咬合の出現についても理解し、支援することも大切である。

5　救急処置について、次の各問いに答えなさい。

(1) 児童生徒がプールで溺れたときの救急処置として正しいものを、次の選択肢から１つ選び、記号で答えなさい。

ア　水中で胸骨圧迫を行いながら、プールサイドに移動させる。
イ　多量に水を飲んでいることが予想されるので，水を吐かせるために腹部を圧迫する。
ウ　ＡＥＤを使用する場合は、一刻を争うので、水着を脱がさず、体が濡れたままパッドを貼り付けて使用しても構わない。
エ　素早くプールサイドに引き上げ、意識や正常な呼吸がなければ、ただちに心肺蘇生を行う。

(2) 傷病の救急処置として誤っているものを、次の選択肢から１つ選び、記号で答えなさい。

ア　毛虫の毒針毛に触れた場合は、すぐに粘着テープを用いて皮膚に付着した毒針毛を取り除き、よく泡立てた石けんと流水で洗い流す。
イ　鼻出血の場合は、上を向いて座らせて安静にし、鼻翼を強くつまむ。
ウ　肉離れが疑われる場合は、患部を冷却して安静にする。
エ　アキレス腱断裂が疑われる場合は、うつ伏せに寝かせて、副子の上に固定する。仰向けの時にも、つま先を伸ばした状態のまま医療機関に搬送する。

6　健康相談と保健指導について、次の各問いに答えなさい。

(1) 学校保健安全法について、（　　）に当てはまる語句を、下の選択肢からそれぞれ1つずつ選び、記号で答えなさい。ただし、同じ番号には同じ語句が入るものとする。

（健康相談）

第八条　学校においては、児童生徒等の（　①　）に関し、健康相談を行うものとする。

（保健指導）

第九条　養護教諭その他の職員は、相互に連携して、健康相談又は児童生徒等の健康状態の日常的な（　②　）により、児童生徒等の心身の状況を把握し、健康上の問題があると認めるときは、（　③　）、当該児童生徒等に対して必要な指導を行うとともに、（　④　）、その保護者（学校教育法第十六条に規定する保護者をいう。第二十四条及び第三十条において同じ。）に対して必要な（　⑤　）を行うものとする。

（地域の医療機関等との連携）

第十条　学校においては、救急処置、健康相談又は保健指導を行うに当たつては、（　④　）、当該学校の所在する地域の（　⑥　）その他の関係機関との連携を図るよう努めるものとする。

ア　健全な発達	イ　措置	ウ　対応	エ　助言
オ　必要に応じ	カ　医療機関	キ　直ちに	ク　遅滞なく
ケ　保健所	コ　心身の健康	サ　健康診断	シ　観察

(2)「教職員のための子供の健康相談及び保健指導の手引ー令和3年度改訂ー（公益財団法人　日本学校保健会）」に記載されている内容について、誤っているものを、次の選択肢から1つ選び、記号で答えなさい。

ア　健康相談は、養護教諭、学校医・学校歯科医・学校薬剤師、学級担任等の関係者が連携しながら、それぞれの専門性に応じて行う。

イ　相談場所は、職員室等オープンな場所で実施するのが望ましい。

ウ　カウンセリングで解決できるものと医療的な対応が必要なものとがあることに留意しなければならない。

エ　健康相談の対象者には保護者は含まれる。

7　「学校における薬品管理マニュアル　令和４年度改訂（公益財団法人　日本学校保健会）」に記載されている学校における医薬品の取扱いの考え方について、（　　）に当てはまる最も適当な語句を、下の選択肢からそれぞれ１つずつ選び、記号で答えなさい。

A　学校は原則として、一般用医薬品を児童生徒に提供する場ではないが、学校で常備する場合、（　①　）医薬品及び（　②　）医薬品は提供しないこと。 B　一般用医薬品を常備する場合、可能な限り、安全性の高い（　③　）医薬品を選ぶこと。 C　学校での一般用医薬品の管理に関する責任者は（　④　）であること。

ア　養護教諭	イ　第一類	ウ　第二類	エ　第三類
オ　要指導	カ　学校薬剤師	キ　校長	ク　保健主事

8　「児童生徒の健康に留意してＩＣＴを活用するためのガイドブック（令和４年３月改訂版　文部科学省）」に記載されている内容について、次の各問いに答えなさい。

(1) 教室の照明環境について、正しいものを○、正しくないものを×とした場合、正しい組合わせを下の選択肢から１つ選び、記号で答えなさい。

①　児童生徒の目の疲労の軽減の観点から、基本的には照明は消して利用するのが望ましい。 ②　電子黒板の画面への映り込みが発生する場合があるので、廊下側にもカーテンを設置するなど状況に応じて適切に対応する。 ③　児童生徒自身が自分の判断でカーテンを開け閉めして、明るさの調整ができるように指導する。

ア	①－○	②－×	③－○
イ	①－×	②－○	③－×
ウ	①－×	②－○	③－○
エ	①－○	②－×	③－×

(2) タブレットＰＣの使用に関する指導について、（　　）に当てはまる数字または語句を下の選択肢からそれぞれ１つずつ選び、記号で答えなさい。 ただし、同じ番号には、同じ数字または語句が入るものとする。

○　目と画面との距離は（　①　）cm以上離し、（　①　）分に１回は、（　②　）秒以上、画面から目を離し遠方を見るように指導する。 ○　背中を伸ばし、椅子に（　③　）腰掛け、床に両足をつけるように指導する。

ア　浅く	イ　15	ウ　深く	エ　20	オ　30

受験番号		氏名	

令和７年度宮崎県公立学校教員採用選考試験 専門　養護教諭　標準解答（１／２）	得点	１００

１

(1)	ア		イ		カ	
(2)	①	オ	②	ア	③	イ
(3)	イ					

１６点

(1)　各３点
※順不同
(2)完答３点
(3)　　４点

２

エ

４点

３

(1)	ウ		カ		
(2)	①	オ	②	カ	③	エ
(3)	イ				

１５点

(1)　各４点
(2)完答３点
(3)　　４点

４

(1)	①	エ	②	ケ	③	キ	④	イ
(2)	ウ		オ					

１６点

(1)　各３点
※①②順不同
(2)完答４点
※順不同

受験番号		氏名	

令和７年度宮崎県公立学校教員採用選考試験

専門　養護教諭　標準解答（２／２）

5

(1)	エ	(2)	イ

８点

各４点

6

(1)	①	コ	②	シ	③	ク
	④	オ	⑤	エ	⑥	カ
(2)	イ					

２２点

(1)各３点
(2)　４点

7

①	オ	②	イ	③	エ	④	キ

１２点

各３点
※①②順不同

8

(1)	ウ					
(2)	①	オ	②	エ	③	ウ

７点

(1)　　４点
(2)完答３点